

## エルニーニョ現象が発生しているとみられます

令和8年春からエルニーニョ現象が発生しているとみられます。  
エルニーニョ現象は冬にかけて発達して最盛期を迎えることが多く、エルニーニョ現象発生時における冬季の日本付近では、気温が高くなりやすい傾向があります。

太平洋赤道域の海洋と大気にエルニーニョ現象時の特徴が現れていることから、エルニーニョ現象が発生しているとみられます。

今夏の天候については、このエルニーニョ現象が発生しているとみられる海洋と大気の状態も含めた予測に基づき、日本付近は高温になる可能性が高いと予報しており、その見通しに変更はありません。

また、エルニーニョ現象は冬にかけて発達して最盛期を迎えることが多く、エルニーニョ現象発生時における冬季の日本付近では、気温が高くなりやすい傾向があります。

詳細は、別紙の参考リンクからエルニーニョ監視速報等をご覧ください。  
日本の天候の見通しについては、最新の季節予報を参照ください。

エルニーニョ監視指数の確率予測  
(予測期間:2026年4月～2026年10月)

年	月	平均期間	各月の確率
2026年	4月	2026年2月～2026年6月	100
	5月	2026年3月～2026年7月	100
	6月	2026年4月～2026年8月	100
	7月	2026年5月～2026年9月	100
	8月	2026年6月～2026年10月	100
	9月	2026年7月～2026年11月	100
	10月	2026年8月～2026年12月	100

■高い ■平常 ■低い

気象庁の定義では、監視指数の5か月移動平均値が高（低）い状態で6か月以上持続した場合をエルニーニョ（ラニーニャ）現象の発生としています。

問合せ先：大気海洋部 気候情報課 異常気象情報センター 経田  
電話 03-6758-3900（内線 4546）

気象庁では、日本を含め世界中の異常な天候の要因となり得るエルニーニョ現象やラニーニャ現象など熱帯域の海洋変動を監視するとともに、それらの実況と見通しに関する情報を「エルニーニョ監視速報」として毎月1回(10日頃)発表しています。

(参考リンク)

- ・最新のエルニーニョ監視速報

[https://www.data.jma.go.jp/cpd/elnino/kanshi\\_joho/kanshi\\_joho1.html](https://www.data.jma.go.jp/cpd/elnino/kanshi_joho/kanshi_joho1.html)



- ・エルニーニョ/ラニーニャ現象に関する知識(現象発生時の天候の統計的な特徴等)

<https://www.data.jma.go.jp/cpd/data/elnino/learning/index.html>



- ・最新の季節予報(1か月予報、3か月予報、暖・寒候期予報)

<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=season>

